

抗議文

日米韓合同軍事演習弾劾！ 米軍はアジアから総撤収せよ！

今日、米海軍は日本の海上自衛隊および韓国海軍とともに、6月21日・22日の二日間の日程で、済州島南方海上で米日韓合同演習を開始した。この演習は原子力空母ジョージ・ワシントンが参加し、さらに日本の海上自衛隊の部隊が参加しておこなわれる初めての本格的な三国合同軍事演習としておこなわれる。続く6月23日から25日には、黄海で米韓合同軍事演習が実施されようとしている。われわれは、これらの演習を強く弾劾する。

米国防総省は今回の合同演習の目的を「災害救援や海上安全確保活動での連携強化」などとしているが、それが朝鮮民主主義人民共和国を威嚇し、中国を軍事的にけん制するためのものであることは明らかだ。それは東アジアの軍事的緊張を高め、朝鮮半島をはじめ同地域における平和に敵対するものだ。このかん米国・日本・韓国の各政府は、共和国による人工衛星打ち上げなどをとらえて「北朝鮮脅威論」を煽り立て、また中国の「軍事的脅威」をキャンペーンしてきたが、その裏で東アジアを舞台に米日、米韓の二国間軍事演習、あるいは今回のような三国合同軍事演習を繰り返しているのだ。

米国・オバマ政権は、その新軍事戦略のもとで、アジア太平洋地域における米軍プレゼンスを圧倒的に強化しようとしている。そのもとで、米軍と日本の自衛隊（日本軍）、韓国軍との軍事的一体化、軍事的連携が強められようとしている。今回の三国合同演習はそのような目的に沿ったものだ。また、これと並行して、自衛隊による沖縄配備の強化、イージス艦の黄海への配備などが策動され、日韓間では軍事情報包括保護協定（GSOMIA）や物品役務融通協定の締結も狙われている。われわれは、アジア太平洋地域における米軍プレゼンスの強化に断固反対するとともに、米国・日本・韓国による軍事的連携の強化、米日韓軍事同盟の形成に向けた策動を強く弾劾する。

われわれはまた、韓国や沖縄、日本「本土」における米軍基地の強化策動を許さない。韓国・済州島では米軍艦のアクセスを可能とするために、おびただしい数の住民や支援者への不当弾圧を伴いながら、海軍基地建設策動が進められている。沖縄では、辺野古新基地建設や高江ヘリパッド建設に加えて、普天間基地へのオスプレイ配備が策動されている。岩国基地においてもオスプレイ配備や愛宕山米軍住宅建設策動など圧倒的な基地強化が進められようとしている。われわれは、現地住民と連帯して、これらの策動を最終的に断念させるまでたたかい抜く。

われわれは、アジア各地のたたかう民衆と連帯し、米軍のアジアからの総撤収の実現に向けたたたかいをさらに強力に展開していく。米日韓合同軍事演習弾劾！米軍はアジアから総撤収せよ！

2012年6月21日